

令和4年度
事務事業評価シート【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	02	01	06	124170	イーハトーブ花巻応援寄附金推進事業費			
総合計画	分野	05	行政経営	政策	02 持続可能で健全な財政経営			
	施策	02	自主財源の確保					
目的	自主財源の確保と市の地場産品のPR・受注拡大を図るため、ふるさと納税制度を推進し、寄附受入れに係る事務処理を行う。							
対象	イーハトーブ花巻応援寄附金寄附者							
意図	寄附額（自主財源）が増加し、地場産品のPRや花巻市の知名度が向上する。							
事業概要	○寄附手続き 234,691千円 寄附の受付に係る事務処理 ○寄附者への返礼品贈呈 1,942,995千円 花巻市の地場産品等を寄附者へ返礼品として贈呈 ○寄附額の拡充を図るための情報発信 5,360千円 ふるさと納税にかかるイベント等への出展、インターネット広告の掲出 ○ふるさと納税取扱事務の外部委託 273,204千円 返礼品受発注事務等の外部委託 ○受領証明書発送、ワンストップ受付事務 117,700千円 ワンストップ業務代行サービス、コールセンター業務代行サービス ○ウクライナ人道危機救援金への寄附 11,086千円							
市民参画の有無	対象外							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標				単位	区分	R03	R04	R05
1	PR回数			回	計画	10.00	10.00	
					実績	5.00	7.00	
2					計画			
					実績			
3					計画			
					実績			
成果指標				単位	区分	R03	R04	R05
1	寄附件数			件	目標	106,000.0	154,000.0	
					実績	322,752.0	319,759.0	
2	寄附金額			千円	目標	1,500,000	2,000,000	
					実績	4,392,402	4,608,477	
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度		○	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
本市のふるさと納税への寄附が好調な要因としては、コロナ禍による巣ごもり需要により、ふるさと納税の市場規模の拡大傾向が全国的に続いていることに加え、本市においては、返礼品の評価が高いこと、豊富な種類の返礼品を出品できたこと、ご希望の多い返礼品にあっても、事業者のご協力を得て切れ目なく安定して提供できたことなどが挙げられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	ふるさと納税制度は所得税及び住民税からの寄附金控除の仕組みを利用した、大都市圏から地方への還流を促す制度であり、行政が関与することが妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	PR活動の強化による花巻市の知名度向上の取り組みや、返礼品の充実を一層図ることにより、寄附件数及び寄附金額の一層の増が見込まれる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費については、寄附件数に応じた規模の範囲内での事業実施となり、削減余地はない。人件費についても、寄附件数に対して、現行の人数が適正規模であることから、削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	他自治体の実施状況や総務省通知の内容に基づき、適正な範囲で実施している。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	○ 適正である	
総合評価	今年度の振り返り	令和4年度に引き続き、全国から40億円台の寄附を頂戴することができた。この大きな要因の一つは、寄附に対する返礼品を全国に発送し続けている市内返礼品事業者の努力のおかげと捉えている。
	次年度に向けて	令和5年度は、宿泊券に代表されるような人流復活の動きに呼応した返礼品のプロモーションをはじめとし、既存の返礼品においても、その見せ方やバリエーションをつけるなどの磨き上げに努めてまいりたい。